



日本食物繊維研究会第5回学術集会の御案内	1
日本食物繊維研究会第5回学術集会開催および演題募集のお知らせ	2
日本食物繊維研究会平成11年度総会記事	5
平成11年度公開講演会実施報告／学術シンポジウムのお知らせ	7
編集委員会より	8

日本食物繊維研究会 第5回学術集会の御案内

第5回学術集会長
田所 忠弘

日本食物繊維研究会の学術集会も第5回目を迎えることとなり、益々の発展が期待されます。今回は、平成12年11月17日（金）と18日（土）の2日間に渡り東京農業大学（東京都世田谷区）で開催する運びとなりました。第1回目の東京を起点にスタートしたものが大阪、郡山、筑波を経て再度東京で開催することとなり、これまでいずれの学術集会においても大成功を収めておりますので、その責任の重さをひしひしと感じております。

さて、今回は食物繊維の作用の中心となる腸管にスポットをあて、それも話題となっている腸管免疫との関わりについてシンポジウム「腸管免疫と食物繊維および関連物質」を17日に組ませて頂くこととなりました。また、翌18日には「食物繊維および関連素材の新機能開発と利用」と題し素材を中心としたシンポジウムも企画しました。現在、シンポジウムを担当していただける演者の諸先生と交渉中ではありますが、ほぼ決まって参りましたので近々にまた御案内できるものと思います。

日進月歩、細胞・遺伝子レベルでの研究進展とも並行しつつ、生活習慣病予防の立場を弁えながら摂食行為を通じて得た食物繊維あるいはその関連物質という素材が生体に及ぼす様々な作用機序を明らかにしたいと誰しもが願うことではありますが、今回の学術集会が、マクロ的な現実に即応した開発・実用化レベルから生体の腸管レベル（腸内細菌）、あるいは細胞レベル、さらには遺伝子やシグナル応答を踏まえたミクロな部分までの道筋の連結が本2日間の学術集会で見えれば幸いと考えておりますので、是非大勢の皆様にご参加いただけるよう万全の準備を整えながら11月を心待ちにしております。恐らく久方ぶりに来られる方も多いかと存じますが、変貌しつつある農大の一端もこの機会に見ていただければと思います。また、恒例の一般演題についてもこれまで同様多数の申し込みにも耐えられるよう配慮してございますので、忘れずに確実に申し込んでいただきたいと思います。なお、公開講演会については別途企画の予定です。様々な視点や観点からの取り組みができますよう積極的な皆様の御意見も事務局を通じてお寄せ頂き充実した研究会発展の一助になりますよう今後とも努力したいと存じます。

第5回学術集会開催および演題募集のお知らせ

1. 第5回学術集会開催のご案内

本年の日本食物繊維研究会第5回学術集会を東京農業大学・田所忠弘教授を学術集會会長とし、関係諸先生のお世話により下記の通りに開催します。会員多数のご参加と食物繊維をはじめとする難消化性糖類周辺の幅広い分野からの演題申込を期待します。

なお、詳細につきましては研究会誌第4巻1号にてお知らせいたします。

1) 日 時：平成12年11月17日（金），18日（土）

2) 場 所：東京農業大学およびグリーンアカデミーホール

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

TEL: 03-5477-2320（栄養生化学研究室II室）田所， FAX:03-5477-2619

3) 講演および討論

発表はスライドプロジェクター1台を用いて行います。但し、ご希望によりOHPも用意致します。本学術集会においては、討論が活発にできるようにしたいと考えております。このため、1演題の持ち時間を少しでも長くする予定です。

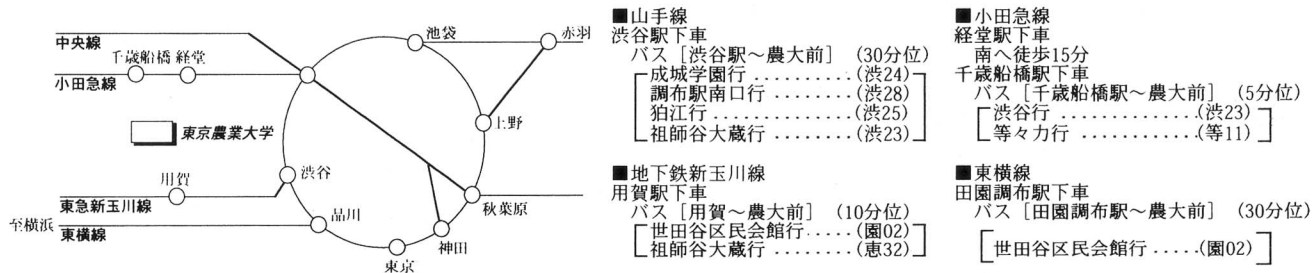
4) 学術集会受付

受付は開始30分前より行います。参加費・会場費（講演要旨集込み）として、正会員 3,000円，学生会員 1,500円，非会員 4,000円を申し受けます。

5) 呼び出し，クローク，昼食，宿泊等の手配など

- 会場での呼び出しは行いません。また、クロークも設置しませんので、荷物等は各自で保管して下さい。
- 昼食は、キャンパス内生協「グリーンカフェテリア」または「すずしろ」、グリーンアカデミーホールレストラン。近傍に、ロイヤル，デニーズほか多数あり（当日地図を準備予定）。
- 宿泊，乗車券等は、各人にてご手配お願い申し上げます。

6) 学術集会会場への交通案内



2.一般演題申込要領

1) 申込期限

平成12年9月16日(土) 必着のこと

2) 申込先

日本食物繊維研究会第5回学術集会事務局

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

東京農業大学応用生物科学部 生物応用化学科栄養生化学研究室

(田所 忠弘 宛)

3) 講演要旨作成要領

①講演要旨原稿はオフセット印刷するのでワープロ(黒印字)でB5サイズ2頁(B4サイズで見開き1頁になる)に仕上げてください。

②図表を入れる場合は指定の枠内に納まるようにしてください。

③用紙は通常のプリント用紙を用いてください。

④発表者が複数の場合、講演者の左頭に○印を付けてください。

⑤所属は略称を用い、氏名の後に()で囲んでください。

⑥講演要旨原稿のオリジナルとコピー1部およびフロッピー(ソフト名記入)をお送りください。

⑦複数の講演要旨を同封する場合はその由を封書に朱書してください。

⑧折り曲げないようにして、「簡易書留」でご送付ください。

⑨講演要旨原稿受領通知用のはがき1枚(宛名を記入したもの)を同封して下さい。

4) その他

①発表者のうち1名以上は本研究会会員であることが必要です。

②演題の採否、講演日時等はプログラム委員会にお任せください。

プログラムは学術集会前に届くよう発送の予定です。

5) 演題申込に関するお問い合わせ先

日本食物繊維研究会第5回学術集会事務局

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

東京農業大学応用生物科学部 生物応用化学科栄養生化学研究室

(田所 忠弘 宛)

TEL:03-5477-2320, FAX:03-5477-2619

日本食物繊維研究会平成11年度総会記事

平成11年度事業報告

1. 庶務関係報告

1) 会員の状況

平成11年8月25日現在の会員数は次のとおりである。

正会員：214，学生会員：5，名誉会員：6，団体会員：5，賛助会員：36

2) 役員

会長：印南 敏

副会長：池田義雄

常任幹事：青江誠一郎，池上幸江，池田義雄，印南敏，奥恒行，桐山修八，
笹山堅，真田宏夫，田所忠弘，森豊，山下亀次郎，山田和彦

幹事：青江誠一郎，池上幸江，池田義雄，印南敏，海老原清，奥恒行，
片山洋子，桐山修八，倉沢新一，斎藤洋子，真田宏夫，坂田隆，
菅野道廣，竹久文之，田所忠弘，土井邦紘，中村尚夫，原田悦守，
森豊，山下亀次郎，山田和彦，中島玲子（大塚製薬株），笹山堅
（ダニスコカルタージャパン株），橋本正子（日本ケロログ株），
若林茂（松谷化学工業株）

監事：綾野雄幸，森文平

3) 常任幹事会

第17回：4月19日（於：国立健康・栄養研究所）

第18回：9月13日（於：国立健康・栄養研究所）

第19回：10月18日（於：国立健康・栄養研究所）

第20回：1月20日（於：国立健康・栄養研究所）

第21回：2月8日（於：国立健康・栄養研究所）

4) 産学協議会

第4回：3月10日（16社参加，於：国立健康・栄養研究所）

5) 評議員会

第4回：11月12日（於：筑波大学）

6) 総会

第4回：11月12日（於：筑波大学）

2. 学術関係報告

1) 第4回公開講演会

日時：平成12年1月29日（土）

場所：銀座ヤマハホール（東京）

演題，演者：1.高脂血症予防・改善のための食生活

—食物繊維を中心として—（五島雄一郎）

2.不溶性食物繊維食と肥満・糖尿病（鈴木正成）

3.食物繊維のはたらきと病気の関わり（奥恒行）

2) 第4回学術集会

日 時：平成11年11月12日(土), 13日(日)

場 所：筑波大学

申込演題数：11題

シンポジウム「レジスタントスターチ(RS)の開発とその意義」

1. RSの開発とその意義(Overview) (桐山修八)

2. RSの生理的意義 (早川亮志)

3. RSの大腸発酵制御 (森田達也)

4. RSの開発とその特性および応用

—湿熱処理ハイアミロースコーンスターチについて— (伊藤剛)

5. Resistant Starch and the Colon-Dietary Fibre or Fibre Equivalent (D.Topping)

3) ニュースレターの発行

第7号：平成11年 3月25日発行 発行部数300部

第8号：平成11年10月25日発行 発行部数300部

4) 研究会誌の発行

第3巻1号：平成11年 6月30日発行 発行部数500部

第3巻2号：平成11年12月30日発行 発行部数500部

3. 経理関係報告

平成10年度 収支決算 (平成10年4月1日～平成11年3月31日)

1) 一般会計収支決算 (単位：円)

収入の部				支出の部			
科 目	決算額	予算額	増△減	科 目	決算額	予算額	増△減
会費収入	2,623,500	2,415,000	208,500	運営費	612,994	1,550,000	△937,006
正会員	(591,000)	(600,000)	(△9,000)	印刷費	(108,150)	(500,000)	(△391,850)
学生会員	(7,500)	(15,000)	(△7,500)	通信費	(129,225)	(300,000)	(△170,775)
団体会員	(50,000)	(50,000)	(0)	消耗品費	(25,450)	(100,000)	(△ 74,550)
賛助会員	(1,975,000)	(1,750,000)	(225,000)	人件費	(120,000)	(150,000)	(△ 30,000)
事業収入	1,198,950	745,000	453,950	会議費	(55,220)	(150,000)	(△ 94,780)
会誌等頒布収入	(181,790)	(45,000)	(136,790)	交通費	(163,000)	(300,000)	(△137,000)
投稿料等	(15,000)	(200,000)	(△185,000)	雑費	(11,949)	(50,000)	(△ 38,051)
広告掲載収入	(810,000)	(500,000)	(310,000)	事業費	2,354,593	2,300,000	54,593
別刷り料	(192,160)	(0)	(192,160)	学術集会補助	(400,000)	(400,000)	(0)
剰余金繰入	2,815,696	2,815,696	0	公開講演会補助	(200,000)	(200,000)	(0)
利息配当金	13,159	10,000	3,159	研究活動費	(203,210)	(200,000)	(3,210)
普通預金	(2,358)	(0)	(2,358)	会誌発行費	(1,551,383)	(1,500,000)	(51,383)
特別会計	(10,801)	(10,000)	(801)	予備費	0	2,135,696	△2,135,696
その他の収入 (雑収入)	0	0	0	当期剰余金	3,683,718	0	3,683,718
合計	6,651,305	5,985,696	665,609	合計	6,651,305	5,985,696	665,609

2) 特別会計収支決算 (単位：円)

収入の部				支出の部			
科 目	決算額	予算額	増△減	科 目	決算額	予算額	増△減
一般会計繰入金	4,500,000	4,500,000	0	一般会計繰出金	10,801	10,000	801
利息配当金収入	10,801	10,000	801	研究会基金繰越	4,500,000	4,500,000	0
合計	4,510,801	4,510,000	801	合計	4,510,801	4,510,000	801

平成12年度事業計画

1. 学術関係

1) 第5回学術集会の開催

会長：田所 忠弘（東京農業大学教授）

2) 第5回公開講演会の開催

場所：未定

3) ニュースレターの発行

第9号：平成12年 3月末発行予定 発行予定部数300部

第10号：平成12年10月末発行予定 発行予定部数300部

4) 研究会誌の発行

第4巻1号：平成12年 6月末発行予定 発行予定部数500部

第4巻2号：平成12年12月末発行予定 発行予定部数500部

5) その他

定義・用語・分類，定量法及びリサーチ・プロジェクトの各部会の活動を継続。

2. 経理関係（平成12年4月1日～平成13年3月31日）

1) 一般会計収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
会費収入	2,639,000	運営費	1,550,000
正会員 3000×210	630,000	印刷費	500,000
学生会員 1500×6	9,000	通信費	300,000
団体会員 10000×5	50,000	消耗品費	100,000
賛助会員 50000×39	1,950,000	人件費	150,000
事業収入	1,125,000	会議費	150,000
会誌等頒布収入	110,000	交通費	300,000
投稿料等	15,000	雑費	50,000
広告掲載収入	850,000	事業費	2,800,000 **
別刷り代	150,000	学術集会補助	400,000
余剰金繰入*	3,300,000 **	公開講演会補助	200,000
利息配当金	10,000	研究活動費	400,000 **
その他の収入（雑収入）	0	会誌発行費	1,800,000 **
合計	7,074,000 **	予備費	2,724,000
		合計	7,074,000 **

*平成11年度余剰金からの繰入金 **修正箇所（平成12年度総会で要修正承認）

2) 特別会計収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
研究会基金よりの繰入	4,500,000	一般会計への繰入金	10,000
利息配当金収入	10,000	研究会基金繰越	4,500,000
合計	4,510,000	合計	4,510,000

公開講演会「生活習慣病と食物繊維」実施報告

去る1月29日(土)、恒例の本研究会主催公開講演会が上記のようなテーマで銀座ヤマハホールにおいて開催されました。印南敏会長の開会の挨拶の後、池田義雄(慈恵会医科大学教授)および池上幸江(大妻女子大学教授)両先生の座長のもとに、『高脂血症の予防・改善のための食生活－食物繊維を中心にして－』(五島雄一郎東海大学名誉教授)、『不溶性食物繊維と肥満・糖尿病』(鈴木正成筑波大学教授)、『食物繊維のはたらきと病気とのかかわり』(奥恒行県立長崎シーボルト大学教授)の3題の講演が行われ、最後に山下亀次郎学術集会長(筑波大学名誉教授)の閉会の辞によって幕を閉じました。

今回の講演会は(社)日本栄養士会、(社)日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会、(社)日本家政学会、(財)日本栄養・健康食品協会の後援と日本ケロッグ(株)の協賛を得て開催されました。当日は天候にも恵まれ、銀座という地の利もあってホール定員の524席をほぼ満席にするような参加者数で、質疑も活発で非常に盛会でした。

例年、公開講演会は学術集会開催日の前後に開催していましたが、今回は学術集会がつくば市で開催されたこともあって学術集会とは別日程で、しかも賛助会員である日本ケロッグ(株)の協賛を得て行うことになりました。このような公開講演会の開催ははじめての試みでありましたが、成功裏に終了したことを考えると今後の検討すべき課題であると思われます。(奥 恒行 記)

学術シンポジウムのお知らせ

第11回食品ハイドロコロイドシンポジウム

主催: 食品ハイドロコロイド研究会

協賛: 日本食物繊維研究会 他

日時: 平成12年6月1日(木) 10:00より受付開始

会場: 大阪市立大学文化交流センター

(梅田第三ビル16階, JR大阪駅徒歩5分, TEL:06-6344-5425)

事務局: 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学生活科学部

食品ハイドロコロイド研究会 西成勝好

TEL; 06-6605-2818 FAX; 06-6605-3086

E-mail; nisinari@life.osaka-cu.ac.jp

編集委員会より

1) 日本食物繊維研究会誌第4巻は6月と12月に発行の予定です。投稿予定の論文をお持ちの方は早めに投稿下さいますようお願いいたします。また、当研究会誌には「企業の窓」や「海外文献」の欄もありますので自薦他薦でご投稿下さい。

2) 平成12年度会費納入のお願い

当研究会は学術集会、公開講演会の開催、研究会誌、ニュースレターの発行など研究会の運営は会費に依存しております。平成12年度の会費は、平成12年5月31日までに同封の振込用紙でご納入下さいますようお願いいたします。

平成12年度会費

正会員	3,000円	学生会員	1,500円
団体会員	10,000円	賛助会員	50,000円(一口)

会員状況：平成12年3月31日現在

正会員	202名	学生会員	6名	賛助会員	36社
団体会員	5団体	名誉会員	6名		

【賛助会員】

参松工業株式会社	太陽化学株式会社	株式会社荻野商店
全国精麦工業協同組合連合会	大日本製薬株式会社	日本食品化工株式会社
佐合食品工業株式会社	ダニスコカルター ジャパン株式会社	大塚製薬株式会社
雪印乳業株式会社	伊那食品工業株式会社	財団法人日本こんにゃく協会
株式会社はくばく	日本ケログ株式会社	株式会社林原生物化学研究所
社団法人菓子総合技術センター	松谷化学工業株式会社	サントリー株式会社
オリヒロ株式会社	株式会社カイゲン	富士パイオ株式会社
日清製粉株式会社	山之内製薬株式会社	日本甜菜製糖株式会社
武田薬品工業株式会社	日本バイオコン株式会社	旭化成工業株式会社
株式会社横浜国際バイオ研究所	第一出版株式会社	大塚製薬株式会社製品部
清水化学株式会社	日清食品株式会社	三和澱粉工業株式会社
雪印食品株式会社	昭和産業株式会社	株式会社 日健総本社

(順不同)

日本食物繊維研究会 JDF News Letter No.9

発行日 : 2000年3月31日
 発行人 : 日本食物繊維研究会会長 印南 敏
 編集人 : 奥 恒行、青江誠一郎
 事務局 : 日本食物繊維研究会事務局
 〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1
 国立健康・栄養研究所 食品科学部内
 TEL : 03-3203-5601, FAX:03-3203-7584
 印刷所 : 株式会社 交友社
 〒136-0072 東京都江東区大島8-38-5

